危険個所200カ所を調査点検

100人が参加 施設の現状目視

NPO法人鹿児島砂防ボランティア（稲田博理事長）は10日、会員約100人が参加して、19年度危険個所調査点検を県大隅地域振興局曽於支所管内で実施。砂防施設や急傾斜地崩壊危険個所など200カ所を23班に分かれ、施設の現状など目視点検を行った。調査結果は後日、県砂防課に報告する。

当日は、午前9時に曽於市大隅町岩川にある道駅「やごろう」で各班ごとにそれぞれ担当現場に向かった。参加者は、曽於支所管内葛篭の小川など砂防施設、急傾斜地の状況、管理状態や近隣地の状況、現場現況や100カ所で、現場現況や経験をもとに点検した。なお、当日の調査点検と作業を続けた。

作業後、同校の山下修三校長が「子供たちが喜んで使える大変素晴らしいグラウンドが出来上がり、感謝しお礼を申し上げます。PTA活動ではできない作業をしてもらい地域の建設業者のありがたさが分かりました」と参加者を前に挨拶した。

参加企業は次の通り。

豊田建設㈱ 徳石建設㈱ 廣瀬建設㈱ ㈱久木野組 吉村建設㈲ ㈲久木野産業 ㈱川路建設 坂口土木工業㈲ 光信建設㈲ ㈲東丸組 ㈱上集組

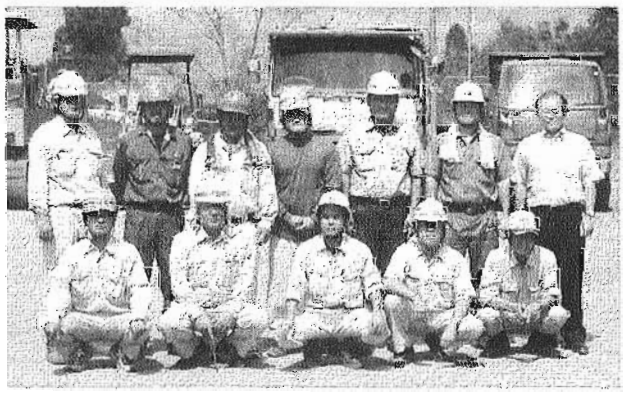
駅「やごろう」で

会 財部町建設同志会青年部が奉仕作業

23日 グラウンドを整備

財部町建設同志会青年部23日会（豊田育男会長・豊田建設㈱）は7日、曽於市立財部南中学校で体育祭前のグラウンド整備作業をボランティアで実施し、学校関係者やPTAから感謝された。同作業は財部町建設同志会の各社若手で構成する「23日会」が、地域社会に奉仕しようと行ったもの。

この日はまず、運動場の芝を剥ぎ取り、重機、タンプを投入しトラック内を締め固めた。会員らは生徒たちが安全・快適に走れるようにと夕方まで



作業前に写真に納まる関係者＝曽於市の財部南中学校で

県造園建設業協会が清掃奉仕

市内3カ所 培った技術発揮

県造園建設業協会（間世田武裕会長）は11日、鹿児島を訪れる観光客に喜んでもらえれば－と、秋の観光シーズンを前に鹿児島市城山町の西郷隆盛銅像周辺など、市内3カ所で清掃奉仕活動を実施した。

同活動は、造園技術の向上や都市環境の整備促進等を目的に、毎年行っているもので、当日は会員企業53社から約60人が参加。鹿児島市の市立美術館隣（西郷隆盛銅像）と甲突川試験施工地（鹿児島アリーナ前）、県合同庁舎の3カ所で樹木選定や清掃作業などの奉仕活動を行った。

このうち、西郷隆盛銅像周辺の活動では、作業前に間世田会長が「みんなから認められる協会活動として、培った技術を発揮してほしい。また、けがなどには十分注意し作業していただきたい」と激励した。また、村上敦務企画広報委員長から作業範囲や注意事項等を受けた後、参加者らはそれぞれの持ち場に移動し作業を開始した。

会員らは高所作業車等を投入し高木の剪定を行ったほか、草刈り機や剪定ばさみで低木の刈り込みなどを手際良く進めた。作業終了後は、周辺が見違えるようにきれいになった。

剪定作業などに汗を流す参加者＝鹿児島市の西郷隆盛銅像周辺で

日本建築士会連合会

全国大会「北海道大会」

今後の建築士像探る

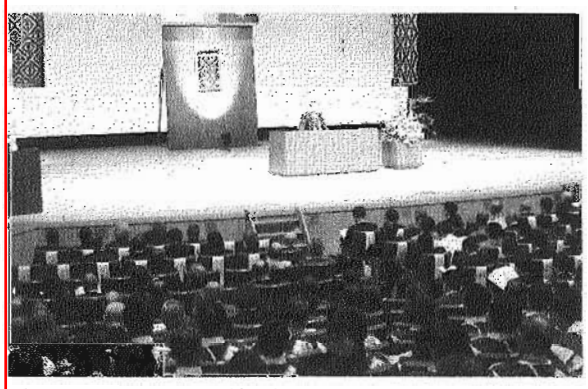
日本建築士会連合会（日建士連、宮本忠長会長）が主催する第50回建築士会全国大会「北海道大会」が8日、帯広市民文化ホールを主会場に開かれた＝写真＝。テーマは「北の開拓地で誓う－建築士の使命」。構造計算書偽装問題の影響で建築士を取り巻く環境が大きく変わる中、全国の建築士が交流イベントや研修セッションを通じてこれからの建築士像を探った。

帯広市での全国大会開催は初めてで、300人が参加した。毎年、全国持ち回りで開かれる全国大会は、開催コストの負担が課題となっていたが、今回の北海道大会は開催予算を大幅にスリム化。今後の全国大会運営のモデルケースになるものとして注目を集めた。

とかちプラザの会場には、全国の建築士会が携わったまちづくりの事例を紹介するパネル展示のブースが設けられた。地産地消の家づくり、小学生向け建築教室、建て替え住み替え支援といった活動内容を各建築士会の担当者が説明。評価するものを参加者が投票し合った。また、建築士による地域実践活動や改正建築士法、専攻建築士制度について講演やパネルディスカッション課題を掘り下げるセッションも開かれ、全国の建築士が各地域の事例などを引き合いに出しながら活発に意見を交わした。

宮本会長に代わって挨拶した連合会の藤本昌也副会長は、国土交通省の社会資本整備審議会で制度設計が進められている建築士試験の受験資格や業務報酬基準の見直しについて触れ、「わが国の建築士の在り方を広い視野に立って熟慮し、政省令に反映されるよう積極的に発言していく」という姿勢を見せた。

来年の全国大会は徳島県建築士会が主管し、徳島市で開催される。



竹山ダム清掃

ふるさとを美化

霧島市溝辺町の水の会や十三塚原土地改良区等は8日、竹山ダム清掃や研修会を開いた。清掃には同町の㈲岩元設備工業（岩元太郎社長）、㈲黒木電気設備工業（黒木博人社長）、㈲松山設備（松山暁社長）、㈲米徳興業（米徳薫社長）の4社もボランティアで協力し、心地よい汗を流した＝写真＝。

竹山ダム清掃は、ふるさとの美化を目的に昨年から始めているもので、当日は関係者や市内外から約60人が参加した。午前9時30分に現地に集合した参加者は、作業内容を大幅にスリム化。今後の全国大会運営のモデルケースになるものとして注目を集めた。

とかちプラザの会場には、全国の建築士会が携わったまちづくりの事例を紹介するパネル展示のブースが設けられた。地産地消の家づくり、小学生向け建築教室、建て替え住み替え支援といった活動内容を各建築士会の担当者が説明。評価するものを参加者が投票し合った。また、建築士による地域実践活動や改正建築士法、専攻建築士制度について講演やパネルディスカッション課題を掘り下げるセッションも開かれ、全国の建築士が各地域の事例などを引き合いに出しながら活発に意見を交わした。

宮本会長に代わって挨拶した連合会の藤本昌也副会長は、国土交通省の社会資本整備審議会で制度設計が進められている建築士試験の受験資格や業務報酬基準の見直しについて触れ、「わが国の建築士の在り方を広い視野に立って熟慮し、政省令に反映されるよう積極的に発言していく」という姿勢を見せた。

来年の全国大会は徳島県建築士会が主管し、徳島市で開催される。

九州7県の建設情報をネットワークで結ぶウェブ九州誕生!!
◆Web九州 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島の九州7地区の情報を網羅する入札情報配信サービス
◆Web福岡 福岡県内の国・県・市町村の建設関連の情報を網羅する建設ネット
無料体験キャンペーン実施中!! kyusyu@web-kyusyu.com
有限会社ウェブ九州 〒812-0017 福岡市博多区美野島3丁目13-2
TEL 092(414)0160・FAX 092(414)0169
URL:http://www.web-kyusyu.com